ウォッチガード、Frost & Sullivanの調査レポートでUTMおよび次世代ファイアウォールにおける3つの主要部門で「リーダー」としての評価を獲得

2014年6月10日（火）

ー企業向けセキュリティソリューションのグローバルリーダであるWatchGuard（R）Technologiesの日本法人である、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都目黒区、社長執行役員 根岸正人、以下ウォッチガード）は、Frost & Sullivanが最近発刊した調査レポート「2014 Global Analysis of UTM （Unified Threat Management）and NGFW（Next Generation Firewall）Market」（2014年度UTM：統合脅威管理／NGFW：次世代ファイアウォール市場に関するグローバル分析）において、3つの部門で「リーダー」として格付けされたことを発表しました。ウォッチガードはManagement and Usability（管理と操作性）、Flexibility（柔軟性）、そしてValue（提供価値）の3つの部門にて高い評価を獲得しました。また、Performance and Scalability（パフォーマンスとスケーラビリティ）およびRoadmap（ロードマップ）の分野でも実績が称えられています。

Frost & Sullivanのネットワークセキュリティ担当シニアインダストリアナリストでありレポートの著者でもあるクリス・ロドリゲス（Chris Rodriguez）氏は、次のように説明しています。「ウォッチガードはUTMとNGFWの市場で確固たる地位を築いており、一貫した製品開発に注力しています。同社の製品戦略は可視化、パフォーマンス、そしてベストオブブリードのテクノロジの統合にフォーカスしており、操作性にも優れ、多大な付加価値を提供しています。」

Frost & Sullivanのレポートでは、ウォッチガードが「リーダー」のポジションを獲得した根拠として、製品やソリューションのメリットを以下のように説明しています。

・ WatchGuard Dimensionでは、セキュリティおよびパフォーマンスの課題をピンポイントで特定できる能力を備えており、管理と操作性を効率化している。
・ ウォッチガードのアプライアンスでは、セキュリティの必須機能を統合的に集約しており、効率性の向上と優れた操作性を実現している。
・ ベストオブブリードのプロバイダの優れたセキュリティテクノロジをFireware（R）プラットフォームに集約することで、ユーザに優れた価値を提供している。
・ Intelプロセッサなどの汎用技術をアプライアンスで最適利用することにより、パケット処理を改善し、パフォーマンスとスケーラビリティの向上を実現している。
・ Firewareおよび他のセキュリティテクノロジに対する一貫した向上に注力しているロードマップにより、製品開発へのコミットメントが確認できる。

また、ウォッチガードのアジアパシフィック担当バイスプレジデントであるスコット・ロバートソン（Scott
Robertson）は、以下のようにコメントしています。「日本のお客様はセキュリティアプライアンスに対して、より多くの機能性を求めています。また同時に、最新の複合型の脅威から組織を守るためのテクノロジも模索しています。私たちの製品は、ハードウェア、ファームウェア、そしてベストオブブリードのサービスを統合し、最新の管理ツールや豊富な機能を備えており、今日のビジネスに最適化された他社にはない可視性、柔軟性、および豊富なネットワーク機能とセキュリティ機能を提供しています。今回Frost &
Sullivanにより、我々のアプローチが生み出す付加価値が評価されたことを大変喜ばしく思っています。」

（ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 社長執行役員 根岸正人）
「今回のFrost &
Sullivanの格付けは、まさにウォッチガードの特長が評価されたものだと言えます。ウォッチガード製品は、最新のセキュリティテクノロジを1台のアプライアンスに集約・統合し、お求めやすい価格にて一貫して可視化による容易な管理性・操作性を実現しています。また、最近では既存のXTMアプライアンスに無線ネットワークセキュリティを統合し、包括的なセキュリティ管理を実現しています。」

【WatchGuard Technologiesについて】
WatchGuard（R）
Technologiesは、業界標準ハードウェア、ベストインクラスセキュリティ、ポリシーベースの管理ツールを独自アーキテクチャにより統合したビジネスセキュリティソリューションを提供するグローバルリーダとして、全世界の企業にセキュリティソリューションを提供しています。ウォッチガードファミリ製品は、複数のセキュリティサービス、シングルコンソールによる導入と管理、インテリジェントに統一された脅威管理を統合し、すべての規模の企業に安全なビジネスの継続を支援します。ウォッチガード製品は先進的な独自のサポートプログラムLiveSecurity（R）により守られています。本社を米国ワシントン州シアトルに置き、北米、ヨーロッパ、アジアパシフィック、ラテンアメリカに支社を展開しています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多くのパートナーを通じて、アプライアンス製品、セキュリティの「可視化」、セキュリティとネットワークの「管理」など拡大するニーズへのソリューションを提供しています。詳細は http://www.watchguard.co.jp をご覧下さい。

WatchGuardは、WatchGuard Technologies,
Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】
ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒153-0051
東京都目黒区上目黒2-9-1 中目黒GS第1ビル3階
マーケティング担当：堀江
Tel： 03-6451-0791
Fax： 03-6451-0792
Email： jpnsales@watchguard.com
URL： http://www.watchguard.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com